

(第7号様式の2)

事業報告書

1 事業名	「防災・危機の学びをチカラに～みんなでなろう！キキレンジャー」イベント事業
2 事業期間	令和6年5月 ～ 令和6年12月
3 事業内容	<p>1. イベント実施概要</p> <p>名称：防災・危機の学びをチカラに～みんなでなろう！キキレンジャー 日時：令和6年9月22日（日） 10:00～17:00 場所：なは市民協働プラザ ピロティ/1階/2階 来場者数：200名 主催：みんなでなろう！キキレンジャー実行委員会 共催：那覇市防災危機管理課/那覇市若狭公民館 協賛：沖縄ツーリスト株式会社/株式会社ブルー・オーシャン沖縄/株式会社レキオス/株式会社 miimuN/ネイチャーみらい館 協力：学校法人 興南学園 興南アクト部</p> <p>出展者： 〈出展内容〉 キキレンジャー 訓練・実践コーナー： ピロティ/2階 会議室①/1階 研修室①</p> <p>県内で、防災や危機対応などの取り組みや体験を行っている出展者がブース出展。子ども向けプログラムを展開してもらい、子ども達にわかりやすく防災や危機対応についての知識を深めてもらった。</p> <p>【キキレンジャー訓練・実践コーナー】</p> <p>★命の平等研修/防災紙芝居劇場 出展者：DET 沖縄 内 容： ①グループワークによる「命の平等」を考える平等研修 ②防災絵本にストーリーを加えて物語を作る ・子ども達や同伴者がグループワークや絵本を通し、インクルーシブ防災の大切さを学んだ。 ・事前研修を受けた興南アクト部の生徒さんたちが運営をサポートした。</p> <p>★消防車両展示 出展者：那覇市消防局 内 容： ①消防車両の展示 ②放水訓練 ・普段見ることのできない消防車両の中に入ったり、放水を近くで見ることができたり、大人から子どもまで楽しみながら関わっていた。 ・消防士が各車両で解説を行っていた。</p> <p>★こども救命入門コース体験</p>

	<p>出展者：那覇市消防団</p> <p>内 容：</p> <p>①基本的な救急救命の知識を学ぶとともに、声出しや、まわりの大人との連携を図る行動の大切さを知り、とっさの時に動けるチカラを身につける。</p> <p>②コースを体験したこどもたちには救命入門コース参加証を発行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員が5～6名で対応、多くの子どもたちが体験できた。 ・実際の危機時に気をつけることなどのアドバイスを受け、学びを深めた。 <p>★防災キャンプから学ぶ危機対応／ペット防災</p> <p>出展者：キャンプ沖縄事業協同組合/災害プラットフォームおきなわ</p> <p>内 容：</p> <p>①県内各地で立ち上げ支援や伴走支援をしている防災キャンプの取り組みのパネル展示</p> <p>②ペット防災、車中泊展示。</p> <p>③必要に応じて防災キャンプ開催に関する相談対応。</p> <p>※前日は新都心公園にて「なは防災キャンプ」開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズを通して、持ち出し品・備蓄について楽しく学んだ。日常的にも身近なキャンプが災害対応に役立つという気づきを与えていた。 ・ペット防災は実際にペットが利用している様子も見学でき、子どもたちの関心を高めた。 ・前日「なは防災キャンプ」に参加した参加者が、ブース展示を行った。 <p>★ガールスカウトの防災</p> <p>出展者：ガールスカウト沖縄県連盟</p> <p>内 容：</p> <p>①ガールスカウト防災スキルの展示・体験</p> <p>②ツナ缶ランプ、段ボールトイレ、ペットボトルライト、新聞紙スリッパなどの展示、体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるものを活用したツナ缶ランプ、段ボールトイレなどの防災スキルの展示をみたり、実際に体験したりすることで学びを深めた。 ・普段知る機会の少ないガールスカウトの活動についても学んだ。 <p>★大容量ポータブル蓄電池 タメルラボ</p> <p>出展者：株式会社考福</p> <p>内 容：</p> <p>①ポータブル蓄電池ならびにソーラーパネルの展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に役立つ防災グッズに実際に触れながら学んだ。 ・様々な質問に丁寧に答え、子ども達の知識を深めていた。 <p>★知ることで備えよう!「災害時スマホ講座」</p> <p>出展者：株式会社レキオス・株式会社ブルー・オーシャン沖縄</p>
--	--

	<p>内 容：</p> <p>①災害時にスマートフォンでできる情報収集や情報発信</p> <p>②災害時のスマートフォン利用における注意点やポイントなどの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターを使ってクイズを行っており、子どもたちが楽しんで学んでいた。 ・災害時に役立つスマートフォンの利用について学びを深めた。 <p>★海の安全教室「海はともだち」</p> <p>出展者：沖縄県ライフセービング協会</p> <p>内 容：</p> <p>①海での事故に遭わないためにはどうすればいいか？もしも事故に遭遇した時はどうすればいいか？目の前で溺れてる！どうやって助ける？海を安全に楽しむために必要なことを学び、体験するプログラムの実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズやペットボトルを使った救助体験を通して、学びを深めた。 ・危険生物などのイラストが載ったパネルを展示し、わかりやすく学ぶことができた。 <p>★防災ボトルづくり体験</p> <p>出展者：株式会社サンダーバード</p> <p>内 容：</p> <p>①災害・危機に強くなるために、日常からの備えについて学ぶ</p> <p>②防災ボトルの中身を考える体験 *マイ防災ボトルづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興南学園 興南アクト部が作った防災ボトルを見ながら、災害時に自分が必要なものについて考えた。 ・避難中、避難後の状況について、防災ボトルを通して学びを深めた。 <p>★防災図書館</p> <p>出展者：繁多川公民館・ビブリオサポートいずみ</p> <p>内 容：</p> <p>①防災に関する本のご紹介</p> <p>②ひとり1冊、無料で本のブックコーティング。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や辞典、レシピ本など、幅広い視点から防災について学びを深めた。 ・楽しいミニゲームなども交えながら、楽しく防災に触れた。 <p>★ぼうさいxがいこくじん</p> <p>出展者：公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団</p> <p>内 容：</p> <p>①外国人の避難支援や防災グッズ・非常食についての展示。</p> <p>②事業に関連したトピックのクイズ出題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に外国人を取り巻く環境や課題について、共助の視点から学びを深めた。 ・クイズを通して、楽しく外国人の防災について学んだ。
--	--

〈講演内容〉

キキレンジャー 作戦会議コーナー：2階 会議室③/2階 研修室①

県内の学校や地域、メディアなどで活躍する専門家を集め、子ども達の身の回りにある様々な危機やその対策について、わかりやすく講話をしてもらった。



【キキレンジャー作戦会議コーナー】

★「生きる力」を育み「心の安全基地」を築くお話

講師：Office teru sun 代表 山田 照子 氏

内容：

- ・インターネットを安全に活用するために必要な正しい知識とルールを学ぶことができた。
- ・インターネットやスマホなどの普及が進み、ネットを悪用した様々な犯罪に子ども達が巻き込まれてしまう事件が多発していることがわかった。
- ・ネットを利用する子ども達が、無意識に犯罪の被害者になるだけでなく、加害者になってしまう危険性やその実例を示すことで危機意識が高まった。

★防災に関する工作・お話

講師：防災士／ラジオコメンテーター

稲垣 暁 氏



内容：

- ・講師の実体験を踏まえた阪神淡路大震災の様子、災害時対応や復興に向けた地域の取り組みなどをイメージして知ることができた。
- ・紙パックを活用したお皿づくりなど、避難所生活に必要な知恵や知識を楽しく学ぶことができた。
- ・子どもから大人まで具体的な災害時対応を学ぶことができた。

★台風を中心としたお天気のお話

講師：気象予報士 松澤 まゆ 氏

内容：

- ・お天気の話とあわせて、毎日観るテレビの仕事の裏側で、気象予報士がどのような活動をしているのかを知ることができた。
- ・身近な「台風」の仕組みや対応を、子ども達の目線でわかりやすく知ることができた。
- ・毎日見る気象予報ニュースを、さらに関心を持って見ることができる内容だった



★防災と情報についてのお話

講師：RBCアナウンサー／防災士
仲村 美涼 氏



内容：

- ・アナウンサーである講師が、明るく、楽しく取り組みを伝えた。
- ・災害時の混乱の中、多くの人に情報発信を行う報道の大切さを知ることができた。
- ・テレビやラジオから正しい災害情報を得る方法やラジオの使い方などがわかった。

★ぼうさい えほんの読み聞かせ

講師：防災士／FMとよみ 専務取締役
平田 千春 氏



内容：

- ・小さい子どもを連れてお父さんお母さんが、リラックスしながら子ども達と一緒に防災知識を深めていた。
- ・絵本の読み聞かせとあわせ、実際に子育て中のママである講師の防災に関するアドバイスを聞けるなど、日々の取り組みで役立つ内容だった。
- ・楽しく子どもの防災意識を高める方法を伝えることができた。

【記録写真】





〈フィールドワーク/体験コーナー〉

作戦会議コーナー：2階会議室①/2階会議室②/フィールドワーク

【キキレンジャー秘密会議コーナー】

★防災さんぽ

講師：那覇市防災危機管理課 源河 北斗 氏

内容：

- ・なは市民協働プラザから新都心公園までを歩きながら、那覇市で取り組んでいる防災や身近にある防災設備について学ぶことができた。
- ・新都心公園にある防災備蓄倉庫を見学し、災害時の備蓄の想定について考え、自分でも備えることの大切さを学ぶことができた。
- ・講師が楽しくわかりやすく那覇市の防災の取り組みを伝えてくれることで、公助の役割について深く学ぶことができた。



★災害脱出ゲーム

講師：防災士 松村 直子 氏

サポート：興南アクト部

内容：

- ・子どもたちだけで被災した時に、家族や大人との再会までどのように乗り切っていくかをゲーム形式で体験した。
- ・次々と発生するタスクをチームで考えながら、避難経路の確認方法や怪我をした時の手当の方法など、命を守るためのスキルを学ぶことができた。
- ・ゲーム形式で、実際に道具などを使ってタスクをクリアすることで、達成感を味わいながら災害時対応を学ぶことができた。



★なは防災キャンプ参加者 発表

発表者：「なは防災キャンプ・夏」に参加した子どもたちの発表会

司会進行：興南アクト部

内容：

「なは防災キャンプに・夏」に参加した小学生2名が、防災キャンプで学んだことや、楽しかったこと、大変だったことを発表した。子ども達へのインタビューを興南アクト部の生徒が行い、来場していた子ども達と同じ目線で防災に取り組む子ども達の言葉を聞くことで、より防災を身近に感じ、取り組む楽しさや大切さを伝えた。



	達成目標（事業計画書と連携させる）	目標数値	実績値	達成度（%）
4 達成目標と達成度	①キキレンジャーキッズ認定	①150人	①90人	①60%
	②「防災・危機への理解度が高まった」とアンケートで回答した参加者	② 80 % 以上	②100% (14名中14名)	②100%

	<p>【結果に至る理由、気づき、検証等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キキレンジャーキッズ認定を受けるために、3つのブースを回る必要があり、時間の都合ですべてのブースを回れない来場者が一定数いたため、来場した子どもたち全員をキキレンジャーキッズに認定することができなかった。 ・講話やフィールドワークなど、拘束時間が長く低学年にとってハードルが高いブースでも、みんなが参加しやすくなる工夫が必要。 ・興南アクト部が受付係とアンケート係を兼任しており、アンケートが十分に取れなかったため、次回は事務局からアンケート係をつける。 ・イベントに足を運ぶことで、来場者が防災・危機に対する知識を得ることができた。 ・出展者からも当イベントに出展することで防災の取り組みの意識がより高まったとの声があった。
5 事業の成果	<p>【事業を実施したことで得られた結果】</p> <p>★対象者に及ぼした影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・危機に対する理解が高まり、防災・危機意識が上がった。 ・子どもたちが、楽しく防災・危機対応について学びを深めることができた。 <p>★連携機関、協力者に及ぼした影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携機関間において、協力体制を構築することができた。 ・他イベントでの連携などを図ることができた。 <p>★地域、コミュニティに及ぼした影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・危機対応に対して来場者や関係者に興味を持ってもらうことができた。
6 次年度以降の展開	<p>【ビジョンを見据えたうえで次年度以降に予定している展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントにキキレンジャーブースとして出展し、当イベントの価値と認知度を高めていきたい。 ・子ども達が楽しみながら、防災や危機対応の意欲が高まるコンテンツ開発を進め、将来的にはキキレンジャーを軸とした防災関連商品の開発、販売なども行いたい。 ・学校などの課題教育として防災を取り上げてもらえるよう、様々な機関で働きかけをしていきたい。

<p>7 実施した事業 全体への自己 評価とその理 由</p>	<p>①自己評価(5段階評価) 当てはまるところに○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>と て も 良 か っ た</td> <td>良 か っ た</td> <td>ま あ ま あ 良 か っ た</td> <td>少 し 良 か っ た</td> <td>全 く 良 く な か っ た</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>1 課題設定は良かったか <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1</p> <p>2 解決策として良い手法だったか <input type="radio"/> 5 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1</p> <p>3 自団体の実施体制は良かったか <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1</p> <p>4 他団体との協働体制は良かったか <input type="radio"/> 5 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1</p> <p>5 対象者への周知は良かったか <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1</p> <p>②上記の結果となった理由について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けに防災へのアプローチは良かったが、周知が十分ではなかった。もっと早い段階で詳細を確定し、夏休み前の十分な周知を図るべきだった。 ・体制的に動ける人数が少なかった。結果的に事務作業が遅れるなどの状況になった。 ・出展者は例年出展しているところもあり、趣旨は十分に理解してもらっていたが、新規出展者もいたため、出展者説明会を実施するなど、横連携の更なる強化を図るべきだった。 		と て も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た		5	4	3	2	1
	と て も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た								
	5	4	3	2	1								
<p>8 市への要望・ 欲しい支援等</p>	<p>なは市民活動支援事業に係る下記の項目に対して (①事業説明会 ②個別相談 ③募集期間 ④広報支援 ⑤オープンデータ等) 特にありません。大変協力して頂き感謝しています。ありがとうございました。</p>												